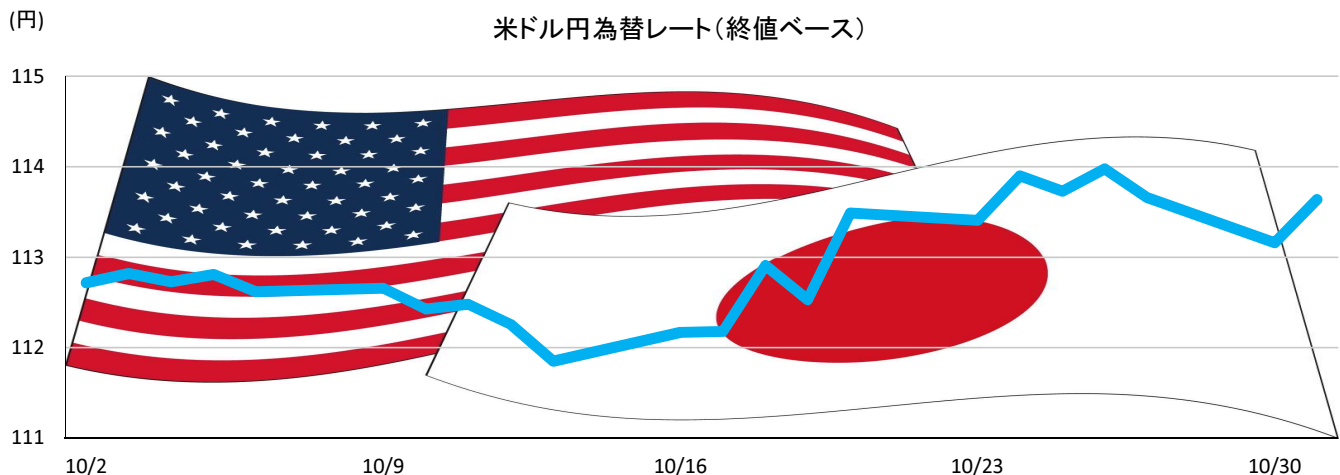


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り:** 10月のドル円相場は、111円半ば～114円半ばで推移。10日の北朝鮮朝鮮労働党創建記念日までは一進一退の動きだったが、具体的な行動はなかった。その後、グアム周辺へミサイル発射と報じられ、円高ドル安が進んだものの、影響は限定的で次第に市場の関心事は経済動向に移っていった。NYダウの史上最高値更新に引っ張られるようにドル高の流れとなっているが、テクニカル的に114円台で上値を抑えられていることや次期FRB議長をめぐる報道等で高値圏での攻防を余儀なくされているものの、月末に行われた衆議院選挙で与党が大勝したこともあり、下値も限定的。カタールーニャ自治州独立問題の影響も一時的にあったが、市場の流れを転換させるほどではなかった。



## EXTRA VISION

**今後の展開:** 衆議院総選挙は与党の大勝で終わったこともあり、米国利上げ問題が最大の焦点となってきた。11月のFOMCにおいては金利据え置きとなったが、年内あと1回の利上げと示唆されていることから、12月のFOMCにおいて利上げされることはよほどのことがない限り既定路線とっていいだろう。また次期FRB議長が誰になるのかということにも注目したい。イエレンFRB議長の再指名はなさそうだが、パウエル氏を指名する見込みとなっていることから金融政策路線の変更もないと思われる。そう考えるとゆるやかなドル高基調は今後も続いていくのではないだろうか。もちろん北朝鮮問題は今のところ大きな動きが見られないため市場は反応していないが、潜在的なリスクとして頭の片隅に入れておいた方がいいだろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

| 日付          | 時間      | 国  | 指標名               | 重要度   |
|-------------|---------|----|-------------------|-------|
| 11 / 28 (火) | 18 : 30 | GB | 英GDP改定値           | ☆☆☆☆  |
| 11 / 29 (水) | 22 : 30 | US | 米GDP改定値           | ☆☆☆☆  |
| 12 / 5 (火)  | 19 : 00 | EU | 欧州GDP確定値          | ☆☆☆☆  |
| 12 / 8 (金)  | 8 : 50  | JP | 日GDP改定値           | ☆☆☆☆  |
| 12 / 8 (金)  | 22 : 30 | US | 米雇用統計             | ☆☆☆☆☆ |
| 12 / 14 (木) | 4 : 00  | US | 米連邦公開市場委員会 (FOMC) | ☆☆☆☆☆ |
| 12 / 14 (木) | 21 : 45 | EU | 欧州中央銀行 (ECB) 政策金利 | ☆☆☆☆  |

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていることがありますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。